



琉球美術工芸の
何だコレ!?!
すごい!何で?どうやっての!?!
な琉球美の世界

①模造復元品 朱漆巴紋牡丹沈金御供飯 ②模造復元品 三御飾御酒器 ③模造復元品 擬宝珠形丁子風炉 ④⑤模造復元品 間得大君御殿雲龍黄金簪 ⑥模造復元品 玉陵勾欄羽目

2024.

8.9 金

入場無料

18:30~20:30
(開場 18:00)

※ 席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。

講師 伊禮 拓郎 (美術工芸担当)

会場 沖縄県立博物館・美術館
博物館講座室

受付 当日先着 (定員 80 名)

お問合せ 098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

琉球王国時代、漆器や紅型など様々な美術工芸品が作られ、それらは時代を超えて今なお多くの人を魅了しています。しかし、琉球の美を言葉で表そうとすると、端的に表す言葉はまだ見つかっていません。もしかすると、私たちはまだ琉球の美の本質を理解できていないのかもしれませんが。

本講座では、近年の調査研究や模造復元を通して見えてきた個別の事例を紐解きながら、琉球の美とは何か考えていきたいと思います。

※開催の曜日と時間が通常の学芸員講座と異なります。ご注意ください。

次回予告

2024. 9.14 (土) 14:00 ~ 16:00 (13:30 開場)

博物館学芸員講座

「県内のグスク時代の遺跡について」(仮)

講師 山本 正昭 (歴史担当)

あなたの沖縄に出会う